

公益財団法人徳島県勤労者福祉ネットワーク 第49回理事会議事録

(写し)

1. 招集年月日 2025年8月 8日(金)
2. 開催日時 2025年9月16日(火) 15時00より16時30分まで
3. 開催場所 徳島市昭和町3丁目35-1
わーくぴあ徳島(徳島県労働福祉会館)5階502会議室
4. 出席した理事の氏名
石堂 佳子・森本 佳広・杉本 友好・成谷 雅弘・加藤 弘道・手塚 俊明・大谷 竹人
川口 誠二・兼松 文子・加渡 いづみ・佐藤 晃子・好野 祐司・吉田 益子
岡山 千賀子・吉田 幸司(以上15名)
5. 欠席した理事の氏名
林 香与子・飯田 博司・木下 慎次・上田 輝明・島 和久(以上5名)
6. 出席した監事の氏名
米澤 和美・真鍋 恵美子・廣瀬 克己(以上3名)
7. 欠席した監事の氏名
無し(以上0名)

第49回理事会開会にあたり、石堂佳子理事長が定款第38条の定めにより議長となった。

本日は理事20名中15名が出席しており、公益財団法人徳島県勤労者福祉ネットワーク定款第39条に定める理事会成立要件(出席理事が過半数以上)を満たしていることから、理事会が成立している旨を議長が宣言した。

なお、監事3名中全員が出席していることが報告された。

続いて石堂佳子議長より、次の点について挨拶・報告があった。

- ① 赤ちゃん授業をはじめとする子育て・子育て支援について
- ② マリッサとくしま10周年、ハートフルゆめ基金とくしま10周年、くーぼん丸。20周年の節目の年であること
- ③ あわ〜ず徳島の会員2万人達成に向けた取り組みについて
- ④ 多文化共生と平和への取り組みについて
 - 外国人や障がいのある方を含め、誰もが安心して交流できる居場所づくり
 - 戦後80年という節目にあたり、平和を次世代にどう伝えるかという課題に正面から向き合い、とくしまピースネット80の活動を通じて「平和なくして福祉なし」という理念を体現していきたいこと

以上の挨拶・報告の後、議事に入った。

8. 議事の経過の要領及び議案別議決の結果

《第1号議案》2025年度上期事業進捗状況並びに下期重点課題の取り組み承認の件

石堂佳子議長より、2025年度上期事業進捗状況並びに下期重点課題の取り組み承認の件について審議いただきたいと述べ、杉本友好専務理事より、別紙議案書に基づいて提案を行った。

石堂佳子議長から、質問・意見を諮ったところ、川口誠二理事より、あわ～ず徳島の取り組みの韓国旅行への補助にどのくらいの応募、利用があるかとの質問をいただいた。質問に対し、事務局（松下恵子常務執行役員）より現在38人の申し込みがあり、すでに26人が利用していただいていると回答。佐藤晃子理事からは、職員全員の防災士資格取得への取り組みについて、現在どのくらいの取得率となっているか、また、BCPの策定はできているかとの質問をいただいた。防災士の取得率に対しては事務局（桂潤児参与）より、現在職員の4割弱の取得が実現していると回答。BCPの策定については、杉本友好専務理事より未着手であることを回答した。

その他には、特に質問・意見はなく、議案採決を求め、2025年度上期事業進捗状況並びに下期重点課題の取り組み承認の件について全員挙手にて賛成し異議なく承認した。

《第2号議案》2025年度補正予算策定承認の件

石堂佳子議長より、すでに承認いただいている予算について、新たな事業を受託したこと等による補正予算を策定したことから承認を願いたい旨告げ、杉本友好専務理事より別紙議案書に基づいて詳細に説明を行った。

石堂佳子議長から、議案について質問・意見を諮ったところ、特に質問・意見はなく、採決を求め、全員挙手にて賛成の上異議なく承認した。

《第3号議案》ガバナンス強化に向けた諸規程の整備について

石堂佳子議長より、ガバナンス強化に向けた諸規程の整備について、法改正や働き方改革などにより公益法人を取り巻く環境が大きく変化していることに触れ、諸規程の整備を行いたい旨述べ、杉本友好専務理事より、議案書に基づき提案を行った。石堂佳子議長から質問・意見を諮ったところ、以下の発言があった。

- ・森本佳広理事より、就業規則のボランティア休暇の新設について、ボランティアの定義付けや基準の設定を行うことが望ましいとの意見があった。
- ・米澤和美監事より、就業規則の特別休暇の改訂に触れ、がん検診休暇やボランティア休暇が新設されたことは評価できるが、現状に合わせた冠婚葬祭関連の休暇日数の減は望ましくない。特に「配偶者の父母が死亡したときに…1日」について、経験上1日では足りず、多い方が望ましい。次回の改訂の際には改善をしてほしいとの意見があった。
- ・真鍋恵美子監事より、利益相反防止規程における役職員の兼職の申告について、兼職に変更があった場合にその都度自己申告が必要かどうかとの質問があった。

これに対し、杉本友好専務理事より、

- ・ボランティア休暇の定義付けおよび忌引休暇の対象範囲の拡大については、今後具体的に検討する旨の説明があった。
- ・役職員の兼職に関する自己申告については、具体的な申告方法を今後検討する旨の回答があった。

その他、特に質問・意見はなく、採決を求めたところ、全員挙手にて賛成し、異議なく承認された。

《報告事項》

常勤役員業務執行状況

常勤役員業務執行状況について、それぞれの挨拶・報告提案の冒頭、石堂佳子理事長、杉本友好専務理事の順番で、2025年度上期の業務執行状況について報告を行い、全員の承認を得た。

《その他》

最後に感想・意見を求めたところ、以下の発言があった。

- ・成谷雅弘理事からは、人口減少社会における課題に触れ、マリッサとくしまの結婚支援に期待する旨の発言があった。
- ・加藤弘道理事からは、財団の取り組む子育て支援の重要性について言及があった。
- ・手塚俊明理事からは、少子化対策としての結婚支援に期待するとともに、報告にKPIの手法を取り入れることを推奨する旨の発言があった。
- ・兼松文子理事からは、モンゴルとの交流について具体的な事業に共に取り組みたいとの意見があった。
- ・加渡いづみ理事からは、高齢化社会への対応として、ライフエンディングセミナーの開催や遺贈寄付の取り組み、休眠預金の活用などに期待するとの発言があった。
- ・好野祐司理事からは、共に取り組んでいる平和に向けた活動の報告があった。
- ・吉田益子理事からは、財団の多文化共生や環境保護、平和に対する活動の重要性を述べるとともに、活動を評価する旨の発言があった。
- ・岡山千賀子理事からは、予算の補正で「くーぼん丸。」事業の減額に触れ、期待と激励の言葉があった。
- ・吉田幸司理事からは、人口減少社会における子育てや孤立・孤独対策につながる事業において、財団の果たす役割は大きいとの発言があった。
- ・廣瀬克己監事からは、法人会計の法律改正に迅速に対応しているとの評価をいただいた。

すべての議事が終了したので、議長は閉会を宣した。

上記決議を明確にするため、本議事録を作成し、出席理事長及び出席監事が、次に記名押印する。

本議事録は、議事録原本である。

2025年9月16日

公益財団法人徳島県勤労者福祉ネットワーク

議 長（理事長） 石 堂 佳 子 ⑩

監 事 米 澤 和 美 ⑩

監 事 真鍋 恵美子 ⑩

監 事 廣 瀬 克 己 ⑩

※原本に議長および監事の押印あり

※この議事録は原本をもとに作成した写しです。原本は当法人事務局にて保管しています。